

白山市長選挙公報

白山市選挙管理委員会

**財政の健全化を達成し、
次世代に継ぐ政策を実行します！
各地域が満足できる
白山市政を築きます！**



夢とりもどそう “対話”と“参加”の市政へ！



白山市はこの4年間停滞し、合併で描いた夢がしぼんでしまいました。その原因は「市民との対話不足」「県との連携不足」の市政にあります。私はこの問題を解決し、将来に夢を描ける白山市の再生に全力をあげる決意です。

「合併特例措置」の終了により、白山市が国からもらえるお金は平成27年度以降、段階的に減り、平成32年度には今と比べ41億円も少なくなります。放っておけば財政は破綻します。そこで、この4年間は財政再建に注力しました。公共施設を見直し、維持運営費を年間7億6千万円削減、職員人件費も13億円削減しました。

これからも、多くの難題を地域や議会の皆さんと力を合わせて改革を進め、健全化した財政で「子どもたちのために保育園や児童館」「高齢者や寝たきりの方のための介護施設」などの充実を急ぎ、**白山市民の満足度向上を目指します！**

昭和32年1月17日生まれ。白山市(旧松任市)上小川町出身。金沢市立工業高校、金沢工業大学卒業。松任市議会議員、同副議長、石川県議会議員、同副議長を歴任し、平成22年から白山市長。
家族/妻、長男(夫婦)、次男(夫婦)、犬(ダックスフント)
趣味/山登り、スキー

妻が語る素顔

松任市議、石川県議、白山市長と、私が夫と政治の世界を歩んで26年になります。二人の息子たちも結婚し、所帯を持ちました。息子たちが家に来るときは、昔と変わらず仲のよい友達同士のようにいつも笑顔で接しています。ですが、ひとつ仕事のことを考え始めると、書齋に入り、考え事に集中します。そんな時の夫にはとても近づくことができません。「すべての市民の幸せのために」を常に考えている信念の人です。(作野淳子)

ささくの広昭

57歳 無所属

- 地域**
 - 対話を大切にする市政
 - 災害に強いまちづくり
 - 広域で支える絆づくり
- 暮らし**
 - 安心の医療・福祉の推進
 - 住みやすい環境づくり
 - 子育て支援の一層の充実
- 人材**
 - 女性が輝く社会づくり
 - シルバー人材の積極活用
 - 心豊かな子ども育成
- 産業**
 - 県と連携した企業誘致
 - 商店街と地場産業の振興
 - 農林水産業の担い手育成
- 文化**
 - 白山の世界遺産登録の推進
 - 個性と魅力を磨く文化の振興
 - 伝統と文化を育む環境づくり



白山市再生にあなたの1票を！

ホームページもぜひご覧ください！

ヤマノリドットコム

yamanori.com

のりあき